

6月衣浦合同（野島回航）レース 帆走指示書

共同主催： 富貴クラブ・衣浦ヨットクラブ・碧南ヨットクラブ

1、適用規則

セーリング競技規則(RRS) 2025-2028 及び本帆走指示書とする。

2、責任の所在

- 1) レース艇がスタートするか否か、またレースを続行するか否かは、すべて各艇の責任のみで決定される。
- 2) 参加艇や乗組員の事故（死亡・傷害・沈没・破損等）及び第三者に与えた損害については、主催団体及びレース委員会及び運営委員は如何なる責任も負わない。

3、競技者への通知

レース本部からの通知及び帆走指示書の変更等は、最初の予告信号 10 分前までに、本部船から通知する。(L 旗掲揚、白板掲示等)

4、レース日程

2025 年 6 月 15 日(日) 予告信号 AM9 時 55 分

5、コース

スタート（矢作浮標付近）→ → 佐久島と大磯の間を通過 → 野島(時計回り) → 松島を右に見て → 師崎水道を通過 → 矢作浮標付近（フィニッシュ）

6、マーク

マークはオレンジ色ブイを使用する。

7、本部艇

スタート及びフィニッシュ本部艇：JUME BRIDE IV ハルの色 黄 オレンジ旗を掲揚する。

野島をトップ回航艇は、本部艇に電話をする。

本部艇の連絡先：090-2947-5778 永井守久

8、スタート

A) スタートは、RRS26 を用いクラブ旗は、富貴クラブ旗を使用する。

信号	旗と音響信号	スタート信号までの時間
予告	富貴クラブ旗：音響 1 声	5 分
準備	P 旗または I 旗；音響 1 声	4 分
1 分前	準備信号の降下：音響 1 声	1 分
スタート	富貴クラブ旗の降下：音響 1 声	0 分

B) スタートラインはポートの端となるオレンジ色のマークとスタートボードの端となる本部艇のマストに掲揚したオレンジ旗との間とする。

レース艇はスタート信号後、10 分以内にスタートしなければならない。同時刻までにスタートしなかった艇は DNS とする。

9、個別のリコール

リコール艇があった場合に、本部船に X 旗を揚げ音響信号 1 声を発する。

10、ゼネラルリコール

リコール艇の識別が困難の場合、本部艇に第一代表旗を掲げ音響信号 2 声を発する。

11、スタートの延期

スタートの延期は、本部艇に AP 旗を掲揚し、音響信号 2 声を発して通知する。次のスタート予告信号は AP 旗 降下 1 分後とする。

12、レースの中止 レースの中止は、本部艇に N 旗を掲揚し、音響信号 3 声を発して通知する。

N 旗掲揚した場合は、その日のレースは行わない。

13、フィニッシュ

フィニッシングラインはスターボードの端となる矢作ブイとポートの端となる本部艇に掲揚したオレンジ旗との間とする。

14、コース短縮

コース短縮の場合のフィニッシュラインはスターボードの端となる生田鼻ブイとポートの端となる本部船の S 旗の間とする。

15、タイムリミット

タイムリミットは、スタート後 300 分とする、またはトップ艇フィニッシュ後 60 分のどちらか遅い方とする。それ以前にフィニッシュ出来なかった艇は DNF とする。

16、抗議

本レース委員会は抗議を受け付けない、ただし、参加艇や乗組員の事故及び第三者に与えた損害については、主催団体は如何なる責任も負わない。

17、失格に代わる罰則

RRS 第 2 章の規則違反については、失格に代わる罰則として、(720° 回転)の罰則が適用される。

18、レース旗

A) レース参加艇はレース旗または各クラブ旗を予告信号からレース終了まで、もしくは棄権するまでバックステイに掲揚しなければならない。

B) レースを棄権した艇は、直ちにレース旗等をおろし、速やかに本部艇に報告しなければならない。

19、レース艇の義務

A) 途中棄権した艇またはタイムリミットに掛かった艇は、速やかに本部艇に報告しなければならない。

B) 乗組員は全て、ライフジャケットを着用しなければならない。

20、衣浦合同レース特別規定

レース参加艇でレース中にレース続行不可能になった場合は本部艇に連絡し、助けが必要な時はセールを降ろしてレース旗をマストに掲げ、近くにいるレース艇にアピールしてください。発見したレース艇は直ちにレースを中断し接近し状況を本部艇に連絡してください。レース終了後レースを中断した時刻と復帰した時刻を本部艇に連絡してください

参考 JSAF 外洋レース規則 第7条エンジンの使用

落水者救助、遭難艇(船舶) 救助、衝突回避、その他の緊急事態に対処するためにエンジンを使用することが出来る。但し、エンジンを使用した場合には、その状況(使用した目的、時間、場所等)についてフィニッシュ後レース委員会に速やかに報告しなければならない。

漁船、その他一般動力船との出会いでは、衝突回避が最優先です。微風時、視界不良時には、エンジン使用が衝突回避に有効な場合があります。無用なトラブルを避けるため遠慮なく活用しましょう。

参考コース図

